

令和 5 年度事業報告書

社会福祉法人稲泉会

慶泉荘居宅介護支援事業所

I. 総括

今年度も法人の理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、福祉サービス及び保健医療サービスが、総合的かつ効率的に提供されるよう、利用者の立場に立ち支援して参りました。

今年度は、職員の退職もあり職員体制が変更となりましたが、利用者の方に引き続きサービスが継続して利用できるよう支援して参りました。重点項目は3点掲げて取り組んで参りました。1点目については、業務継続計画を作成することが出来ました。今後の研修や訓練において具体的に取組んで行きます。2点目の居宅介護支援専門員の育成については、事業内研修の開催などで質の向上に努めました。3点目の法令遵守・給付件数目標については、法令遵守に努めたほか、給付件数については、職員の変更もあり1ヶ月109件と目標には達することが出来ませんでした。

今後も引き続き信頼される居宅介護支援事業所を目指し、地域包括ケアの一役を担っていけるよう取り組んで参ります。

II. 重点項目

1. 事業継続計画の策定
2. 事業の安定・継続の対策として居宅介護支援専門員の育成
3. 法令遵守による稼働率目標の設定（特定事業所加算の算定Ⅲ又はⅡ）
介護支援専門員 3～4人配置
介護給付管理目標件数 月 120件

Ⅲ. 各部署における事業報告

職 種 居宅介護支援課

重点目標

- | |
|--|
| <p>1、事業継続計画は、平時からの対応・災害が予測される場合の対応・災害発生時の対応をシミュレーションし作成する。</p> <p>2、給付管理件数の管理・向上</p> <p>3、特定事業所加算の向上</p> |
|--|

重点実施項目の成果

	実施項目	実施項目の成果
1	事業継続計画作成	<p>災害発生時、優先的に安否確認が必要な利用者について、あらかじめ検討し台帳の整備避難先の確認等シミュレーション実施</p> <p>BCP 関係については、各部署共通の会議により作成することができたが、居宅の独居及び重度高齢者の利用者に対してのシミュレーションは紙面上のみであった為、具体性に欠けてしまった。</p>
2	給付管理件数	<p>新規依頼の受け入れ 各サービス事業所へサービス依頼と連携を深める</p> <p>新規依頼の件数は46件であり、契約した数は37件、前年度比0.8%増となった。 給付管理の全件数は1307件であり、介護給付は昨年度と比べ13件増・予防給付は18件減となり全体では5件減となった為、目標の件数には至らなかった。</p>
3	特定事業所加算の算定	<p>介護支援専門員が増員になるとⅢ～Ⅱへ可能</p> <p>居宅の特定事業所加算は、人員基準に満たずⅢで実施した。 介護支援給付費の報酬額は、要介護の場合は1件につき15000円平均、介護予防支援費の受託介護報酬額は1件につき4300円であるため、予防の件数3件で介護支援費と同等になる。ケア</p>

		マネージャーの人員と経験値に合わせながら介護と予防の配分を行い、職員の安定と育成が実施できた。居宅内のケアマネージャーが感染症等及び濃厚接触者等で休養した場合に、新規利用者等の対応にも困難が生じるため、今後様々な局面での検討を行う必要がある。
--	--	---

- 4、 法人内サービスへの紹介率については、慶泉荘デイサービスは前半期 59%、後半期はお試しデイ含めて 69%だった。ショートステイについては、空きベットがなく 55%だった。

平泉町のご利用者は町内の宿泊施設を希望する方が多いため、ショートと連携を図り利用につなげたい。